

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-1) 農業競争力強化基盤整備事業(農業競争力強化農地整備事業(農地整備事業))

(都道府県名: 福井県)(地区名: 小山南部)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善、営農環境の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業の効用の発現が十分に見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 受益者負担の可能性が十分であること。(公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとならないこと。	<input type="checkbox"/>
5. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の( )には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-1) 農業競争力強化基盤整備事業(農業競争力強化農地整備事業(農地整備事業))

(都道府県名: 福井県)(地区名: 小山南部)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保	-	○	A
			②コスト縮減についての具体的配慮		○	
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	879	B
			スマート農業技術等の導入	-	○	A
			大区画化ほ場の割合	%	76.7	A
			①担い手の米の生産コストの労働費 ②事業実施前と比較した担い手の米の生産コストの労働費	円/60kg 割	2,981 8	B
		産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	786.1	A
			②高収益作物の作付面積の増加率	%	775.0	
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	96.9	A
			担い手への面的集積率	%	91.0	A
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率 ②作付率の増加ポイント	% %	102.0 0.5	A
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	1,687	A
		農業の高付加価値化	①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組 ②地域活性化に係る話合い	-	- ○	B
	多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	-	○	A
	環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	-	-	B
		生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮	-	a	A
②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組			-	a		
③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	-	a				

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	A	A
	関係計画との連携		①都道府県や市町村が策定する農業振興計画や農業振興地域整備計画等と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — a a —	A
	関係機関との連携		農地中間管理機構との連携	—	○	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	a a	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a —	A
	緊急性		①国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い ②老朽化等による施設機能低下や農業被害の発生状況、地域の農家の減少、荒廃農地の増加状況から、施設整備の緊急性が高い	—	— ○	B
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	73.7	B

## 小山南部地区の事業の効用に関する説明資料

### 1 総費用総便益比の算定

#### (1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①=②+③	1,017,313
当該事業による費用	②	894,816
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	122,497
評価期間（当該事業の工事期間+40年）	④	48年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	1,514,458
総費用総便益比	⑥=⑤÷①	1.48

#### (2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点)	当該事業 による費 用	関連事業 による費 用	再整備費	資産価額 (評価期間 終了時点)	総費用
		①	②	③	④	⑤	⑥= ①+②+③ +④-⑤
当 該 事 業	農業用排水施設整備	-	814,026	-	173,617	77,045	910,598
	暗渠排水	-	72,563	-	26,606	3,563	95,606
	農道	-	8,227	-	2,219	815	9,631
	計	-	894,816	-	202,442	81,423	1,015,835
そ の 他	農道	1,478	-	-	-	-	1,478
	計	1,478	-	-	-	-	1,478
合 計		1,478	894,816	-	202,442	81,423	1,017,313

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 ( 便 益 ) 額	効果の要因
<b>食料の安定供給の確保に関する効果</b>			
作物生産効果		44,103	農業用排水施設整備、暗渠排水を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		22,847	農業用排水施設整備、暗渠排水を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 405	農業用排水施設整備、暗渠排水、農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
営農に係る走行経費節減効果		942	農道整備を実施した場合と実施しなかった場合で走行経費が増減する効果
<b>その他の効果</b>			
国産農産物安定供給効果		9,873	農業用排水施設整備、暗渠排水の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		77,360	

(4) 総便益額算出表-1

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	作物生産効果(農業用排水施設)						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計 年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割 引 後 左 後 年効果額 (千円) ⑦=⑥÷①	
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④			
1	R8	1.0400	1	39,847	-	-	-	39,847	38,314	
2	R9	1.0816	2	39,847	-	-	-	39,847	36,841	
3	R10	1.1249	3	39,847	-	-	-	39,847	35,423	
4	R11	1.1699	4	39,847	-	-	-	39,847	34,060	
5	R12	1.2167	5	39,847	-	-	-	39,847	32,750	
6	R13	1.2653	6	39,847	-	-	-	39,847	31,492	
7	R14	1.3159	7	39,847	-	-	-	39,847	30,281	
8	R15	1.3686	8	39,847	-	-	-	39,847	29,115	
9	R16	1.4233	9	39,847	-	-	-	39,847	27,996	
10	R17	1.4802	10	39,847	-	-	-	39,847	26,920	
11	R18	1.5395	11	39,847	-	-	-	39,847	25,883	
12	R19	1.6010	12	39,847	-	-	-	39,847	24,889	
13	R20	1.6651	13	39,847	-	-	-	39,847	23,931	
14	R21	1.7317	14	39,847	-	-	-	39,847	23,010	
15	R22	1.8009	15	39,847	-	-	-	39,847	22,126	
16	R23	1.8730	16	39,847	-	-	-	39,847	21,274	
17	R24	1.9479	17	39,847	-	-	-	39,847	20,456	
18	R25	2.0258	18	39,847	-	-	-	39,847	19,670	
19	R26	2.1068	19	39,847	-	-	-	39,847	18,914	
20	R27	2.1911	20	39,847	-	-	-	39,847	18,186	
21	R28	2.2788	21	39,847	-	-	-	39,847	17,486	
22	R29	2.3699	22	39,847	-	-	-	39,847	16,814	
23	R30	2.4647	23	39,847	-	-	-	39,847	16,167	
24	R31	2.5633	24	39,847	-	-	-	39,847	15,545	
25	R32	2.6658	25	39,847	-	-	-	39,847	14,947	
26	R33	2.7725	26	39,847	-	-	-	39,847	14,372	
27	R34	2.8834	27	39,847	-	-	-	39,847	13,819	
28	R35	2.9987	28	39,847	-	-	-	39,847	13,288	
29	R36	3.1187	29	39,847	-	-	-	39,847	12,777	
30	R37	3.2434	30	39,847	-	-	-	39,847	12,286	
31	R38	3.3731	31	39,847	-	-	-	39,847	11,813	
32	R39	3.5081	32	39,847	-	-	-	39,847	11,359	
33	R40	3.6484	33	39,847	-	-	-	39,847	10,922	
34	R41	3.7943	34	39,847	-	-	-	39,847	10,502	
35	R42	3.9461	35	39,847	-	-	-	39,847	10,098	
36	R43	4.1039	36	39,847	-	-	-	39,847	9,710	
37	R44	4.2681	37	39,847	-	-	-	39,847	9,336	
38	R45	4.4388	38	39,847	-	-	-	39,847	8,977	
39	R46	4.6164	39	39,847	-	-	-	39,847	8,632	
40	R47	4.8010	40	39,847	-	-	-	39,847	8,300	
41	R48	4.9931	41	39,847	-	-	-	39,847	7,980	
42	R49	5.1928	42	39,847	-	-	-	39,847	7,674	
43	R50	5.4005	43	39,847	-	-	-	39,847	7,378	
44	R51	5.6165	44	39,847	-	-	-	39,847	7,095	
45	R52	5.8412	45	39,847	-	-	-	39,847	6,822	
46	R53	6.0748	46	39,847	-	-	-	39,847	6,559	
47	R54	6.3178	47	39,847	-	-	-	39,847	6,307	
48	R55	6.5705	48	39,847	-	-	-	39,847	6,065	
合計(総便益額)									844,561	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-1

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	作物生産効果(暗渠排水)					備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計 年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④		
1	R8	1.0400	1	-	4,256	0.0	0	0	0
2	R9	1.0816	2	-	4,256	12.0	511	511	472
3	R10	1.1249	3	-	4,256	24.0	1,021	1,021	908
4	R11	1.1699	4	-	4,256	36.0	1,532	1,532	1,310
5	R12	1.2167	5	-	4,256	48.0	2,043	2,043	1,679
6	R13	1.2653	6	-	4,256	60.1	2,558	2,558	2,022
7	R14	1.3159	7	-	4,256	72.1	3,069	3,069	2,332
8	R15	1.3686	8	-	4,256	84.1	3,579	3,579	2,615
9	R16	1.4233	9	-	4,256	100.0	4,256	4,256	2,990
10	R17	1.4802	10	-	4,256	100.0	4,256	4,256	2,875
11	R18	1.5395	11	-	4,256	100.0	4,256	4,256	2,765
12	R19	1.6010	12	-	4,256	100.0	4,256	4,256	2,658
13	R20	1.6651	13	-	4,256	100.0	4,256	4,256	2,556
14	R21	1.7317	14	-	4,256	100.0	4,256	4,256	2,458
15	R22	1.8009	15	-	4,256	100.0	4,256	4,256	2,363
16	R23	1.8730	16	-	4,256	100.0	4,256	4,256	2,272
17	R24	1.9479	17	-	4,256	100.0	4,256	4,256	2,185
18	R25	2.0258	18	-	4,256	100.0	4,256	4,256	2,101
19	R26	2.1068	19	-	4,256	100.0	4,256	4,256	2,020
20	R27	2.1911	20	-	4,256	100.0	4,256	4,256	1,942
21	R28	2.2788	21	-	4,256	100.0	4,256	4,256	1,868
22	R29	2.3699	22	-	4,256	100.0	4,256	4,256	1,796
23	R30	2.4647	23	-	4,256	100.0	4,256	4,256	1,727
24	R31	2.5633	24	-	4,256	100.0	4,256	4,256	1,660
25	R32	2.6658	25	-	4,256	100.0	4,256	4,256	1,597
26	R33	2.7725	26	-	4,256	100.0	4,256	4,256	1,535
27	R34	2.8834	27	-	4,256	100.0	4,256	4,256	1,476
28	R35	2.9987	28	-	4,256	100.0	4,256	4,256	1,419
29	R36	3.1187	29	-	4,256	100.0	4,256	4,256	1,365
30	R37	3.2434	30	-	4,256	100.0	4,256	4,256	1,312
31	R38	3.3731	31	-	4,256	100.0	4,256	4,256	1,262
32	R39	3.5081	32	-	4,256	100.0	4,256	4,256	1,213
33	R40	3.6484	33	-	4,256	100.0	4,256	4,256	1,167
34	R41	3.7943	34	-	4,256	100.0	4,256	4,256	1,122
35	R42	3.9461	35	-	4,256	100.0	4,256	4,256	1,079
36	R43	4.1039	36	-	4,256	100.0	4,256	4,256	1,037
37	R44	4.2681	37	-	4,256	100.0	4,256	4,256	997
38	R45	4.4388	38	-	4,256	100.0	4,256	4,256	959
39	R46	4.6164	39	-	4,256	100.0	4,256	4,256	922
40	R47	4.8010	40	-	4,256	100.0	4,256	4,256	886
41	R48	4.9931	41	-	4,256	100.0	4,256	4,256	852
42	R49	5.1928	42	-	4,256	100.0	4,256	4,256	820
43	R50	5.4005	43	-	4,256	100.0	4,256	4,256	788
44	R51	5.6165	44	-	4,256	100.0	4,256	4,256	758
45	R52	5.8412	45	-	4,256	100.0	4,256	4,256	729
46	R53	6.0748	46	-	4,256	100.0	4,256	4,256	701
47	R54	6.3178	47	-	4,256	100.0	4,256	4,256	674
48	R55	6.5705	48	-	4,256	100.0	4,256	4,256	648
合計 (総便益額)									72,892

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	営農経費節減効果(農業用排水施設)					備考	
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果		計	左 後		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④				年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④
1	R8	1.0400	1	△ 3,165	12,293	0.0	0	△ 3,165	△ 3,043	
2	R9	1.0816	2	△ 3,165	12,293	11.9	1,463	△ 1,702	△ 1,574	
3	R10	1.1249	3	△ 3,165	12,293	23.9	2,938	△ 227	△ 202	
4	R11	1.1699	4	△ 3,165	12,293	35.9	4,413	1,248	1,067	
5	R12	1.2167	5	△ 3,165	12,293	47.9	5,888	2,723	2,238	
6	R13	1.2653	6	△ 3,165	12,293	59.9	7,364	4,199	3,319	
7	R14	1.3159	7	△ 3,165	12,293	71.9	8,839	5,674	4,312	
8	R15	1.3686	8	△ 3,165	12,293	83.9	10,314	7,149	5,224	
9	R16	1.4233	9	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	6,413	
10	R17	1.4802	10	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	6,167	
11	R18	1.5395	11	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	5,929	
12	R19	1.6010	12	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	5,701	
13	R20	1.6651	13	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	5,482	
14	R21	1.7317	14	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	5,271	
15	R22	1.8009	15	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	5,069	
16	R23	1.8730	16	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	4,873	
17	R24	1.9479	17	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	4,686	
18	R25	2.0258	18	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	4,506	
19	R26	2.1068	19	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	4,333	
20	R27	2.1911	20	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	4,166	
21	R28	2.2788	21	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	4,006	
22	R29	2.3699	22	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	3,852	
23	R30	2.4647	23	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	3,703	
24	R31	2.5633	24	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	3,561	
25	R32	2.6658	25	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	3,424	
26	R33	2.7725	26	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	3,292	
27	R34	2.8834	27	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	3,166	
28	R35	2.9987	28	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	3,044	
29	R36	3.1187	29	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	2,927	
30	R37	3.2434	30	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	2,814	
31	R38	3.3731	31	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	2,706	
32	R39	3.5081	32	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	2,602	
33	R40	3.6484	33	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	2,502	
34	R41	3.7943	34	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	2,406	
35	R42	3.9461	35	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	2,313	
36	R43	4.1039	36	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	2,224	
37	R44	4.2681	37	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	2,139	
38	R45	4.4388	38	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	2,056	
39	R46	4.6164	39	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	1,977	
40	R47	4.8010	40	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	1,901	
41	R48	4.9931	41	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	1,828	
42	R49	5.1928	42	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	1,758	
43	R50	5.4005	43	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	1,690	
44	R51	5.6165	44	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	1,625	
45	R52	5.8412	45	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	1,563	
46	R53	6.0748	46	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	1,503	
47	R54	6.3178	47	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	1,445	
48	R55	6.5705	48	△ 3,165	12,293	100.0	12,293	9,128	1,389	
合計 (総便益額)									143,353	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	営農経費節減効果(暗渠排水)					備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計 年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④		
1	R8	1.0400	1	-	13,719	0.0	0	0	0
2	R9	1.0816	2	-	13,719	12.0	1,646	1,646	1,522
3	R10	1.1249	3	-	13,719	24.0	3,293	3,293	2,927
4	R11	1.1699	4	-	13,719	36.0	4,939	4,939	4,222
5	R12	1.2167	5	-	13,719	48.0	6,585	6,585	5,412
6	R13	1.2653	6	-	13,719	60.1	8,245	8,245	6,516
7	R14	1.3159	7	-	13,719	72.1	9,891	9,891	7,517
8	R15	1.3686	8	-	13,719	84.1	11,538	11,538	8,431
9	R16	1.4233	9	-	13,719	100.0	13,719	13,719	9,639
10	R17	1.4802	10	-	13,719	100.0	13,719	13,719	9,268
11	R18	1.5395	11	-	13,719	100.0	13,719	13,719	8,911
12	R19	1.6010	12	-	13,719	100.0	13,719	13,719	8,569
13	R20	1.6651	13	-	13,719	100.0	13,719	13,719	8,239
14	R21	1.7317	14	-	13,719	100.0	13,719	13,719	7,922
15	R22	1.8009	15	-	13,719	100.0	13,719	13,719	7,618
16	R23	1.8730	16	-	13,719	100.0	13,719	13,719	7,325
17	R24	1.9479	17	-	13,719	100.0	13,719	13,719	7,043
18	R25	2.0258	18	-	13,719	100.0	13,719	13,719	6,772
19	R26	2.1068	19	-	13,719	100.0	13,719	13,719	6,512
20	R27	2.1911	20	-	13,719	100.0	13,719	13,719	6,261
21	R28	2.2788	21	-	13,719	100.0	13,719	13,719	6,020
22	R29	2.3699	22	-	13,719	100.0	13,719	13,719	5,789
23	R30	2.4647	23	-	13,719	100.0	13,719	13,719	5,566
24	R31	2.5633	24	-	13,719	100.0	13,719	13,719	5,352
25	R32	2.6658	25	-	13,719	100.0	13,719	13,719	5,146
26	R33	2.7725	26	-	13,719	100.0	13,719	13,719	4,948
27	R34	2.8834	27	-	13,719	100.0	13,719	13,719	4,758
28	R35	2.9987	28	-	13,719	100.0	13,719	13,719	4,575
29	R36	3.1187	29	-	13,719	100.0	13,719	13,719	4,399
30	R37	3.2434	30	-	13,719	100.0	13,719	13,719	4,230
31	R38	3.3731	31	-	13,719	100.0	13,719	13,719	4,067
32	R39	3.5081	32	-	13,719	100.0	13,719	13,719	3,911
33	R40	3.6484	33	-	13,719	100.0	13,719	13,719	3,760
34	R41	3.7943	34	-	13,719	100.0	13,719	13,719	3,616
35	R42	3.9461	35	-	13,719	100.0	13,719	13,719	3,477
36	R43	4.1039	36	-	13,719	100.0	13,719	13,719	3,343
37	R44	4.2681	37	-	13,719	100.0	13,719	13,719	3,214
38	R45	4.4388	38	-	13,719	100.0	13,719	13,719	3,091
39	R46	4.6164	39	-	13,719	100.0	13,719	13,719	2,972
40	R47	4.8010	40	-	13,719	100.0	13,719	13,719	2,858
41	R48	4.9931	41	-	13,719	100.0	13,719	13,719	2,748
42	R49	5.1928	42	-	13,719	100.0	13,719	13,719	2,642
43	R50	5.4005	43	-	13,719	100.0	13,719	13,719	2,540
44	R51	5.6165	44	-	13,719	100.0	13,719	13,719	2,443
45	R52	5.8412	45	-	13,719	100.0	13,719	13,719	2,349
46	R53	6.0748	46	-	13,719	100.0	13,719	13,719	2,258
47	R54	6.3178	47	-	13,719	100.0	13,719	13,719	2,171
48	R55	6.5705	48	-	13,719	100.0	13,719	13,719	2,088
合計 (総便益額)									234,957

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-3

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	維持管理費節減効果(農業用排水施設)						備考	
				更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果			計		
				年効果額 (千円) ②	年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同割引後 (千円) ⑦=⑥÷①		
1	R8	1.0400	1	△ 226	△ 146	0.0	0	△ 226	△ 217		
2	R9	1.0816	2	△ 226	△ 146	0.0	0	△ 226	△ 209		
3	R10	1.1249	3	△ 226	△ 146	0.0	0	△ 226	△ 201		
4	R11	1.1699	4	△ 226	△ 146	0.0	0	△ 226	△ 193		
5	R12	1.2167	5	△ 226	△ 146	0.0	0	△ 226	△ 186		
6	R13	1.2653	6	△ 226	△ 146	0.0	0	△ 226	△ 179		
7	R14	1.3159	7	△ 226	△ 146	0.0	0	△ 226	△ 172		
8	R15	1.3686	8	△ 226	△ 146	0.0	0	△ 226	△ 165		
9	R16	1.4233	9	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 261		
10	R17	1.4802	10	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 251		
11	R18	1.5395	11	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 242		
12	R19	1.6010	12	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 232		
13	R20	1.6651	13	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 223		
14	R21	1.7317	14	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 215		
15	R22	1.8009	15	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 207		
16	R23	1.8730	16	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 199		
17	R24	1.9479	17	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 191		
18	R25	2.0258	18	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 184		
19	R26	2.1068	19	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 177		
20	R27	2.1911	20	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 170		
21	R28	2.2788	21	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 163		
22	R29	2.3699	22	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 157		
23	R30	2.4647	23	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 151		
24	R31	2.5633	24	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 145		
25	R32	2.6658	25	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 140		
26	R33	2.7725	26	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 134		
27	R34	2.8834	27	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 129		
28	R35	2.9987	28	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 124		
29	R36	3.1187	29	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 119		
30	R37	3.2434	30	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 115		
31	R38	3.3731	31	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 110		
32	R39	3.5081	32	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 106		
33	R40	3.6484	33	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 102		
34	R41	3.7943	34	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 98		
35	R42	3.9461	35	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 94		
36	R43	4.1039	36	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 91		
37	R44	4.2681	37	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 87		
38	R45	4.4388	38	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 84		
39	R46	4.6164	39	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 81		
40	R47	4.8010	40	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 77		
41	R48	4.9931	41	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 75		
42	R49	5.1928	42	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 72		
43	R50	5.4005	43	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 69		
44	R51	5.6165	44	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 66		
45	R52	5.8412	45	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 64		
46	R53	6.0748	46	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 61		
47	R54	6.3178	47	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 59		
48	R55	6.5705	48	△ 226	△ 146	100.0	△ 146	△ 372	△ 57		
合計 (総便益額)									△ 6,904		

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-3

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	維持管理費節減効果(農道)						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	△ 33	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	△ 33	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	△ 33	0.0	0	0	0	
4	R11	1.1699	4	-	△ 33	0.0	0	0	0	
5	R12	1.2167	5	-	△ 33	0.0	0	0	0	
6	R13	1.2653	6	-	△ 33	0.0	0	0	0	
7	R14	1.3159	7	-	△ 33	0.0	0	0	0	
8	R15	1.3686	8	-	△ 33	0.0	0	0	0	
9	R16	1.4233	9	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 23	
10	R17	1.4802	10	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 22	
11	R18	1.5395	11	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 21	
12	R19	1.6010	12	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 21	
13	R20	1.6651	13	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 20	
14	R21	1.7317	14	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 19	
15	R22	1.8009	15	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 18	
16	R23	1.8730	16	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 18	
17	R24	1.9479	17	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 17	
18	R25	2.0258	18	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 16	
19	R26	2.1068	19	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 16	
20	R27	2.1911	20	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 15	
21	R28	2.2788	21	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 14	
22	R29	2.3699	22	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 14	
23	R30	2.4647	23	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 13	
24	R31	2.5633	24	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 13	
25	R32	2.6658	25	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 12	
26	R33	2.7725	26	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 12	
27	R34	2.8834	27	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 11	
28	R35	2.9987	28	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 11	
29	R36	3.1187	29	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 11	
30	R37	3.2434	30	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 10	
31	R38	3.3731	31	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 10	
32	R39	3.5081	32	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 9	
33	R40	3.6484	33	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 9	
34	R41	3.7943	34	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 9	
35	R42	3.9461	35	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 8	
36	R43	4.1039	36	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 8	
37	R44	4.2681	37	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 8	
38	R45	4.4388	38	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 7	
39	R46	4.6164	39	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 7	
40	R47	4.8010	40	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 7	
41	R48	4.9931	41	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 7	
42	R49	5.1928	42	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 6	
43	R50	5.4005	43	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 6	
44	R51	5.6165	44	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 6	
45	R52	5.8412	45	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 6	
46	R53	6.0748	46	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 5	
47	R54	6.3178	47	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 5	
48	R55	6.5705	48	-	△ 33	100.0	△ 33	△ 33	△ 5	
合計 (総便益額)									△ 475	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-4

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	営農に係る走行経費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計 年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④			
1	R8	1.0400	1	639	303	0.0	0	639	614	
2	R9	1.0816	2	639	303	12.0	36	675	624	
3	R10	1.1249	3	639	303	24.0	73	712	633	
4	R11	1.1699	4	639	303	36.0	109	748	639	
5	R12	1.2167	5	639	303	48.0	145	784	644	
6	R13	1.2653	6	639	303	60.0	182	821	649	
7	R14	1.3159	7	639	303	72.0	218	857	651	
8	R15	1.3686	8	639	303	85.0	258	897	655	
9	R16	1.4233	9	639	303	100.0	303	942	662	
10	R17	1.4802	10	639	303	100.0	303	942	636	
11	R18	1.5395	11	639	303	100.0	303	942	612	
12	R19	1.6010	12	639	303	100.0	303	942	588	
13	R20	1.6651	13	639	303	100.0	303	942	566	
14	R21	1.7317	14	639	303	100.0	303	942	544	
15	R22	1.8009	15	639	303	100.0	303	942	523	
16	R23	1.8730	16	639	303	100.0	303	942	503	
17	R24	1.9479	17	639	303	100.0	303	942	484	
18	R25	2.0258	18	639	303	100.0	303	942	465	
19	R26	2.1068	19	639	303	100.0	303	942	447	
20	R27	2.1911	20	639	303	100.0	303	942	430	
21	R28	2.2788	21	639	303	100.0	303	942	413	
22	R29	2.3699	22	639	303	100.0	303	942	397	
23	R30	2.4647	23	639	303	100.0	303	942	382	
24	R31	2.5633	24	639	303	100.0	303	942	367	
25	R32	2.6658	25	639	303	100.0	303	942	353	
26	R33	2.7725	26	639	303	100.0	303	942	340	
27	R34	2.8834	27	639	303	100.0	303	942	327	
28	R35	2.9987	28	639	303	100.0	303	942	314	
29	R36	3.1187	29	639	303	100.0	303	942	302	
30	R37	3.2434	30	639	303	100.0	303	942	290	
31	R38	3.3731	31	639	303	100.0	303	942	279	
32	R39	3.5081	32	639	303	100.0	303	942	268	
33	R40	3.6484	33	639	303	100.0	303	942	258	
34	R41	3.7943	34	639	303	100.0	303	942	248	
35	R42	3.9461	35	639	303	100.0	303	942	239	
36	R43	4.1039	36	639	303	100.0	303	942	230	
37	R44	4.2681	37	639	303	100.0	303	942	221	
38	R45	4.4388	38	639	303	100.0	303	942	212	
39	R46	4.6164	39	639	303	100.0	303	942	204	
40	R47	4.8010	40	639	303	100.0	303	942	196	
41	R48	4.9931	41	639	303	100.0	303	942	189	
42	R49	5.1928	42	639	303	100.0	303	942	181	
43	R50	5.4005	43	639	303	100.0	303	942	174	
44	R51	5.6165	44	639	303	100.0	303	942	168	
45	R52	5.8412	45	639	303	100.0	303	942	161	
46	R53	6.0748	46	639	303	100.0	303	942	155	
47	R54	6.3178	47	639	303	100.0	303	942	149	
48	R55	6.5705	48	639	303	100.0	303	942	143	
合計 (総便益額)									18,729	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-5

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	国産農産物安定供給効果(農業用排水施設)					
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計 同割 (千円) ⑦=⑥÷①	左後
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④		
1	R8	1.0400	1	9,403	-	-	-	9,403	9,041
2	R9	1.0816	2	9,403	-	-	-	9,403	8,694
3	R10	1.1249	3	9,403	-	-	-	9,403	8,359
4	R11	1.1699	4	9,403	-	-	-	9,403	8,037
5	R12	1.2167	5	9,403	-	-	-	9,403	7,728
6	R13	1.2653	6	9,403	-	-	-	9,403	7,431
7	R14	1.3159	7	9,403	-	-	-	9,403	7,146
8	R15	1.3686	8	9,403	-	-	-	9,403	6,871
9	R16	1.4233	9	9,403	-	-	-	9,403	6,606
10	R17	1.4802	10	9,403	-	-	-	9,403	6,353
11	R18	1.5395	11	9,403	-	-	-	9,403	6,108
12	R19	1.6010	12	9,403	-	-	-	9,403	5,873
13	R20	1.6651	13	9,403	-	-	-	9,403	5,647
14	R21	1.7317	14	9,403	-	-	-	9,403	5,430
15	R22	1.8009	15	9,403	-	-	-	9,403	5,221
16	R23	1.8730	16	9,403	-	-	-	9,403	5,020
17	R24	1.9479	17	9,403	-	-	-	9,403	4,827
18	R25	2.0258	18	9,403	-	-	-	9,403	4,642
19	R26	2.1068	19	9,403	-	-	-	9,403	4,463
20	R27	2.1911	20	9,403	-	-	-	9,403	4,291
21	R28	2.2788	21	9,403	-	-	-	9,403	4,126
22	R29	2.3699	22	9,403	-	-	-	9,403	3,968
23	R30	2.4647	23	9,403	-	-	-	9,403	3,815
24	R31	2.5633	24	9,403	-	-	-	9,403	3,668
25	R32	2.6658	25	9,403	-	-	-	9,403	3,527
26	R33	2.7725	26	9,403	-	-	-	9,403	3,392
27	R34	2.8834	27	9,403	-	-	-	9,403	3,261
28	R35	2.9987	28	9,403	-	-	-	9,403	3,136
29	R36	3.1187	29	9,403	-	-	-	9,403	3,015
30	R37	3.2434	30	9,403	-	-	-	9,403	2,899
31	R38	3.3731	31	9,403	-	-	-	9,403	2,788
32	R39	3.5081	32	9,403	-	-	-	9,403	2,680
33	R40	3.6484	33	9,403	-	-	-	9,403	2,577
34	R41	3.7943	34	9,403	-	-	-	9,403	2,478
35	R42	3.9461	35	9,403	-	-	-	9,403	2,383
36	R43	4.1039	36	9,403	-	-	-	9,403	2,291
37	R44	4.2681	37	9,403	-	-	-	9,403	2,203
38	R45	4.4388	38	9,403	-	-	-	9,403	2,118
39	R46	4.6164	39	9,403	-	-	-	9,403	2,037
40	R47	4.8010	40	9,403	-	-	-	9,403	1,959
41	R48	4.9931	41	9,403	-	-	-	9,403	1,883
42	R49	5.1928	42	9,403	-	-	-	9,403	1,811
43	R50	5.4005	43	9,403	-	-	-	9,403	1,741
44	R51	5.6165	44	9,403	-	-	-	9,403	1,674
45	R52	5.8412	45	9,403	-	-	-	9,403	1,610
46	R53	6.0748	46	9,403	-	-	-	9,403	1,548
47	R54	6.3178	47	9,403	-	-	-	9,403	1,488
48	R55	6.5705	48	9,403	-	-	-	9,403	1,431
合計(総便益額)									199,295

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-5

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	国産農産物安定供給効果(暗渠排水)					備考	
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果		計	左 後		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④				年効果額 (千円) ⑤=③×④
1	R8	1.0400	1	-	470	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	470	12.0	56	56	52	
3	R10	1.1249	3	-	470	24.0	113	113	100	
4	R11	1.1699	4	-	470	36.0	169	169	144	
5	R12	1.2167	5	-	470	48.0	226	226	186	
6	R13	1.2653	6	-	470	60.1	282	282	223	
7	R14	1.3159	7	-	470	72.1	339	339	258	
8	R15	1.3686	8	-	470	84.1	395	395	289	
9	R16	1.4233	9	-	470	100.0	470	470	330	
10	R17	1.4802	10	-	470	100.0	470	470	318	
11	R18	1.5395	11	-	470	100.0	470	470	305	
12	R19	1.6010	12	-	470	100.0	470	470	294	
13	R20	1.6651	13	-	470	100.0	470	470	282	
14	R21	1.7317	14	-	470	100.0	470	470	271	
15	R22	1.8009	15	-	470	100.0	470	470	261	
16	R23	1.8730	16	-	470	100.0	470	470	251	
17	R24	1.9479	17	-	470	100.0	470	470	241	
18	R25	2.0258	18	-	470	100.0	470	470	232	
19	R26	2.1068	19	-	470	100.0	470	470	223	
20	R27	2.1911	20	-	470	100.0	470	470	215	
21	R28	2.2788	21	-	470	100.0	470	470	206	
22	R29	2.3699	22	-	470	100.0	470	470	198	
23	R30	2.4647	23	-	470	100.0	470	470	191	
24	R31	2.5633	24	-	470	100.0	470	470	183	
25	R32	2.6658	25	-	470	100.0	470	470	176	
26	R33	2.7725	26	-	470	100.0	470	470	170	
27	R34	2.8834	27	-	470	100.0	470	470	163	
28	R35	2.9987	28	-	470	100.0	470	470	157	
29	R36	3.1187	29	-	470	100.0	470	470	151	
30	R37	3.2434	30	-	470	100.0	470	470	145	
31	R38	3.3731	31	-	470	100.0	470	470	139	
32	R39	3.5081	32	-	470	100.0	470	470	134	
33	R40	3.6484	33	-	470	100.0	470	470	129	
34	R41	3.7943	34	-	470	100.0	470	470	124	
35	R42	3.9461	35	-	470	100.0	470	470	119	
36	R43	4.1039	36	-	470	100.0	470	470	115	
37	R44	4.2681	37	-	470	100.0	470	470	110	
38	R45	4.4388	38	-	470	100.0	470	470	106	
39	R46	4.6164	39	-	470	100.0	470	470	102	
40	R47	4.8010	40	-	470	100.0	470	470	98	
41	R48	4.9931	41	-	470	100.0	470	470	94	
42	R49	5.1928	42	-	470	100.0	470	470	91	
43	R50	5.4005	43	-	470	100.0	470	470	87	
44	R51	5.6165	44	-	470	100.0	470	470	84	
45	R52	5.8412	45	-	470	100.0	470	470	80	
46	R53	6.0748	46	-	470	100.0	470	470	77	
47	R54	6.3178	47	-	470	100.0	470	470	74	
48	R55	6.5705	48	-	470	100.0	470	470	72	
合計 (総便益額)									8,050	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

## 2 年効果額の算定方法

### (1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

水稲、大麦、そば、さといも

○年効果額算定式

年効果額＝単収増加年効果額<sup>※1</sup>＋作付増減年効果額<sup>※2</sup>

※1 単収増加年効果額＝作付面積×（事業ありせば単収－事業なかりせば単収）×単価×単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額＝（事業ありせば作付面積－事業なかりせば作付面積）×単収×単価×作付増減の純益率

○年効果額の算定

（農業用排水施設）

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③＝ ①×②÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤＝③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果対象単収 ②					
		ha	ha	ha		kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円
水稲	更新	72.6	72.6	72.6	単収増 (水管理改良)	221	525	304	220.7	254	56,058	71	39,801
					小計	-	-	-	220.7	254	56,058	71	39,801
					水稲計	-	-	-	220.7	-	56,058	-	39,801
大麦	更新	2.7	2.7	2.7	単収増 (田畑輪換)	113	130	17	0.5	53	27	74	20
					小計	-	-	-	0.5	53	27	74	20
					大麦計	-	-	-	0.5	-	27	74	20
そば (裏作)	更新	1.9	1.9	1.9	単収増 (田畑輪換)	30	34	4	0.1	268	27	-	-
					小計	-	-	-	0.1	268	27	-	-
					そば計	-	-	-	0.1	-	27	-	-
さといも	更新	0.4	0.4	0.4	単収増 (田畑輪換)	177	203	26	0.1	342	34	76	26
					小計	-	-	-	0.1	342	34	76	26
					さといも計	-	-	-	0.1	-	34	-	26
水田計	新設	-	-										
	更新	77.6	77.6							56,146		39,847	
新設													
更新										56,146		39,847	
合計										56,146		39,847	

(暗渠排水)

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③= ①×②÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤=③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥	
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果算定単収 ②						kg/10a
		ha	ha	ha		kg/10a	kg/10a	kg/10a		t	千円/t	千円	%	千円
水稲	新設	72.6	69.9	69.9	単収増(乾田化)	525	557	32	22.4	254	5,690	71	4,040	
					小計					22.4	254	5,690	71	4,040
				△ 2.7	作付減	-	-	525	△ 14.2	254	△ 3,607	-	-	
					小計	-	-	-	△ 14.2	254	△ 3,607	-	-	
					水稲計	-	-	-	8.2	-	2,083	-	4,040	
さといも	新設	0.4	3.5	3.1	作付増	-	-	203	6.3	342	2,155	10	216	
					小計	-	-	-	6.3	342	2,155	10	216	
					さといも計	-	-	-	6.3	-	2,155	-	216	
水田計	新設	77.6	78.0								4,238		4,256	
	更新	-	-								-		-	
	新設										4,238		4,256	
	更新										-		-	
	合計										4,238		4,256	

- ・ 作付面積 : 各作物の作付面積は以下のとおり
  - 「現況作付面積」 ・ 大野市の作付実績に基づき決定した。
  - 「計画作付面積」 ・ 新設整備では、県、大野市の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。
  - ・ 更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした。
- ・ 単 収 : 増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については、以下のとおり
  - 「事業なかりせば単収」 ・ 新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
  - ・ 更新整備では、用排水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。
  - 「事業ありせば単収」 ・ 新設整備では、計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。
  - ・ 更新整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
  - 「効果算定対象単収」 ・ 事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。  
(作付増においては、地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収である。)
- ・ 生産物単価 : 農作物価統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・ 純 益 率 : 「土地改良事業の費用対効果分析必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

## (2) 営農経費節減効果

### ○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

### ○対象作物

水稲、大麦、そば、さといも

### ○効果算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位面積当たり営農経費 - 事業ありせば単位面積当たり営農経費) × 効果発生面積

### ○年効果額の算定

(農業用排水施設)

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤ = (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤ × ⑥	
	新 設		更 新					
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④				
	円	円	円	円	円	ha	千円	
水稲 (利用集積) 個別→担い手	5,789,183	1,113,180	-	-	4,676,003	2.4	11,222	
大麦 (利用集積) 個別→担い手	5,116,368	542,529	-	-	4,573,839	0.1	457	
そば (利用集積) 個別→担い手	5,012,509	556,981	-	-	4,455,528	0.1	446	
さといも (利用集積) 個別→担い手	3,556,511	1,880,403	-	-	1,676,108	0.1	168	
水稲 (用水改良) 個別	-	-	5,745,751	5,789,183	△43,432	4.8	△208	
さといも (用水改良) 個別	-	-	3,527,853	3,556,511	△28,658	0.1	△3	
水稲 (用水改良) 担い手	-	-	1,069,748	1,113,180	△43,432	67.8	△2,945	
さといも (用水改良) 担い手	-	-	1,851,745	1,880,403	△28,658	0.3	△9	
新 設								12,293
更 新								△3,165
合 計								9,128

## (暗渠排水)

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤= (①-②) + (③-④)	効 発 面 果 生 積 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
水稻 (排水改良)	円 2,977,628	円 2,789,158	円 -	円 -	円 188,470	ha 69.9	千円 13,174
大麦 (排水改良)	2,323,306	2,197,009	-	-	126,297	2.7	341
そば (排水改良)	2,554,887	2,516,601	-	-	38,286	3.5	134
さといも (排水改良)	2,287,893	2,251,050	-	-	36,843	1.9	70
新 設							13,719
更 新							-
合 計							13,719

・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり

- ・現況営農経費 : 地域の営農経費であり、福井県の農業経営指標等に基づき算定した。
- ・計画営農経費 : 想定される事業により増減した地域の営農経費であり、福井県の農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。
- ・事業なかりせば営農経費 : 地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

### (3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

農道、用水路

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば維持管理費－事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

（農業用排水施設）

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		591	737	△ 146
更新整備		365	591	△ 226
合計				△ 372

（農道）

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		30	63	△ 33
更新整備		30	30	-
合計				△ 33

・事業ありせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。

・現況維持管理費

：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

#### (4) 営農に係る走行経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の農業交通に係る走行経費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設  
農道

○効果算定式

年効果額 = 事業なかりせば走行経費 - 事業ありせば走行経費

○年効果額の算定

区分	新設	現況走行経費①	事業ありせば走行経費②	年効果額
	更新	事業なかりせば走行経費①	現況走行経費②	③ = ① - ②
		千円	千円	千円
新設整備		778	475	303
更新整備		1,417	778	639
合計				942

- ・事業なかりせば走行経費 : 整備した道路の機能が喪失した状態において想定される農業交通に係る走行経費を算定した。
- ・事業ありせば走行経費 : 道路の整備後における農業交通に係る走行経費を算定した。
- ・現況走行経費 : 現況の農業交通に係る走行経費を基に算定した。

## (5) その他の効果 (国産農産物安定供給効果)

### ○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP (Willingness To Pay: 支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method: 仮想市場法) により年効果額を算定した。

### ○対象作物

水稲、大麦、そば、さといも

### ○効果算定式

年効果額 = 年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額 (原単位)  
+ 年増加供給熱量 × 単位供給熱量当たり効果額 (原単位)

### ○年効果額の算定

区分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 (千kcal) ②	単位食料生産 額当たり効果 額 (円/千 円) ③	単位供給熱量 当たり効果額 (円/千 kcal) ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤ = ① × ③ + ② × ④
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備 (暗渠排水)	4,238	26,503	49	9.9	470
更新整備 (農業用排水施設)	56,146	671,899	49	9.9	9,403
合計	60,384	698,402			9,873

#### ・増加粗収益額

: 作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。

#### ・単位食料生産額 当たり効果額

: 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額 (原単位) は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額 (原単位) は9.9円/千kcalとした

### 3 評価に使用した資料

#### 【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）[改訂版]「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・ 「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和4年4月11日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

#### 【費用】

- ・ 当該事業費に係る一般に公表されていない諸元については、福井県農林水産部農村振興課調べ

#### 【便益】

- ・ 北陸農政局統計部（令和5～6年）「北陸農林水産統計年報」北陸農政局統計部
- ・ 農林水産省大臣官房統計部（平成27年8月）「平成27年農業物価統計」農林水産省
- ・ 令和2年国勢調査(<https://www.e-stat.go.jp/>)
- ・ 農林水産省統計部（令和2年）「令和2年農林業センサス福井県統計書」農林水産統計協会
- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、福井県農林水産部農村振興課調べ